

舞鶴市民新聞

市長事務

2000年(平成12年)3月7日(火曜日)

きょうと
—丹波・丹後—

ランドセル 志摩至誠堂本店
本社 舞鶴市平野屋通
☎(0773)76-1011(代表)

「みずなぎ学園」
開設20周年式典

舞鶴で10人出席

社会福祉法人「みずなぎ学園」(多田卓夫理事長)の開設20周年記念式典が5日、舞鶴市内で開かれた。来賓の江守光起市長ら約150人が出席。多田理事長が「園生、保護者が安心できる施設づくりに努めま

す」あいさつし、森下多恵子園長が20年の歩みを報告。学園の活動に協力した企業や団体、個人に感謝状を贈り、20周年を祝った。1975年に舞鶴市障害児者育成会舞鶴陶器所として発足し、80年に認可を受け、障害者通所授産施設「みずなぎ学園」(定員30人)を開設した。その後、入所施設や高野学園を開設するなど施設を充実し、現在、約150人が自立を目指して生活、作業している。

【南良 靖雄】

社会福祉法人「みずなぎ学園」
さらなる施設拡充めざす

開設20周年 知的障害者の自立更生へ

社会福祉法人「みずなぎ学園」(多田卓夫理事長)の開設二十周年記念式典が五日、浜の旅館「松栄館」であった。知的障害者の自立更生をめざす施設として誕生、現在に至るまでの二十周年を振り返るとともに、今後さらに施設拡充に向かって努力することを誓った。同学園は、昭和五十年

十月に鹿原地区に発足した市障害児者育成舞鶴陶器作業所が前身。同五十五年三月に、認可施設として知的障害者通所授産施設「みずなぎ学園」として開設され、今年で二十周年を迎えた。

この間、陶器作業所時代の建物の老朽化などのため作業棟の建設(昭和五十七年)、保護者の高齢化や地域利用者のニーズに因應するため、入所更生施設の開設(同五十八年)、西地区の利用者の利便性を図るため、高野地区に「みずなぎ高野学園」の開設(平成二年)など施設の拡充整備に

努めてきた。

式典には、府や市の関係者や園生ら合わせて約百五十人が出席。多田理事長は、四月から開所するグループホームや新たに園生を受け入れるための授産分場の開設などを



理事長

春を呼ぶ 舞まいフェスタ、
女性らのイベント盛大に



オープニングを飾った「YOSA KOI舞鶴」の踊り

男女共同参画社会の実現をめざし、女性たちが中心となって企画・運営するイベント「第五回春

として、市民グループが銭太鼓やコーラス、民謡などを発表した。また、東体育館ではフ

紹介するとともに、「園生や保護者の皆様が安心して頂けるよう新しい施設を拡充に向かって職員一同、一層努力することを誓いたい」と述べた。

心身障害者の生活を応援

訪問介護や訪問入浴サービス

施設での一時的介護も



▶ホームヘルパーが食事の支度や掃除などの家事を援助します

市では、介護施設しています。

保険の対象とならない心身障害者等のみなさんの家庭生活を支援するため、新たに訪問介護（ホームヘルプサービス）と訪問入浴を、また、施設で一時的に介護する「レスパイトサービス」の利用施設を拡充して、それぞれ今年度から実

とおり。

【訪問介護】

家庭にホームヘルパーを派遣し、身体介護や家事援助、相談・助言等を行う。知的障害者に対するホームヘルプサービスも。対象は、重度の身体障害者か知的障害者及び難病患者。世帯の所得に応じた利用料が必要。

【訪問入浴】

浴槽を積んだ移動入浴車で家庭を訪問し、入浴介護を行う。対象は、身体障害

者で通所困難な人。利用料は一回千二百五十円。

【レスパイトサービス】

家族介護者の負担を軽減するため、施設で一時的に介護を行う。対象は、身体障害者か知的障害者。実施施設は、社会福祉法人「まいづる福祉会」と社会福祉法人「みずなぎ学園」。利用料は五百円～千五百円、そのほか食事代などの実費が必要。初めて利用する人は、年間登録料三千円が別途必要。

いずれも詳しくは、市役所介護課（☎66・1009）へ。

みずなぎ学園

松ボックリで自主製品

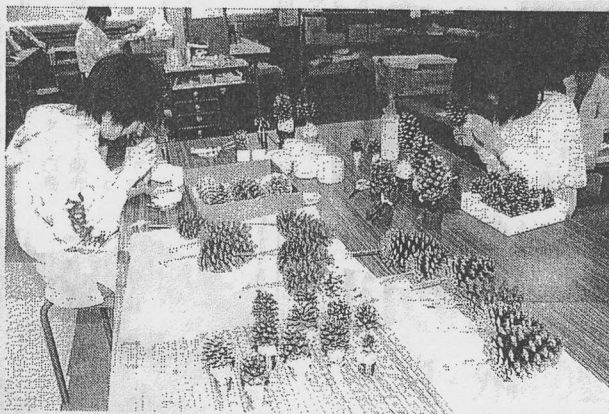
バザーなど販売
クリスマスツリー

鹿原の知的障害者授産施設「みずなぎ学園」で、松ボックリを使ったクリスマスツリーの自主製品づくりがピークを迎えている。加工班の障害者二十五人が作業を分担して、松ボックリの飾り付けの仕事に励んでいる。

同施設では陶芸や綴織などの自主製品を製造販売している。松ボックリのクリスマスツリーは、この時期だけに作られる季節商品。八年前から製造を始め、バザーなどで販売し人気商品となっている。

大きなツリーは一個八百円(予定)、小さなものは一個二百五十円。浜の自主製品販売店「かたぐるま」でも販売している。電話63・5030、みずなぎ学園。

ダイオウ松の松ボックリは市民から寄せられたものを使い、小さな松ボックリは加工班が近くの金剛院から集めている。ダイオウ松を使ったツリーは高さ二十五センチ。緑色などを塗った松ボックリを、ビーズ玉やリボン



舞鶴市民新聞

発行所
(株)舞鶴市民新聞
〒624-0854
舞鶴市円満寺140
TEL 0773-70

可

階層が最も多し込みを受けが調査と認定しては、十一親数は七千四重委託里親数人で、両者と減少した。養手当の受給度の受給者は三百八十一人も約四万人増況をみると、消した世帯がいで母が婚姻生まれた世帯いずれも十年いる。続いて世帯が一・五上遺棄してい、父が障害帯が〇・五年度より減つ帯が二〇・八聖支給(子ども万二千三百三十)に上り、所八万円以上三百聖支給同二万八は二七・〇%にり、経済的に厳した。

日本自転車振興会競輪補助事業完了のお知らせ

このたび日本自転車振興会から、平成十二年度補助金三百三十五万八千円の交付を受け、左記の事業を完了することができました。

ここに事業完了のご報告を申し上げますと共に、日本自転車振興会を始め、ご協力を賜りました関係各位に対し、謹んで感謝の意を表します。

記

- 一、事業内容 平成十二年度知的障害者通所授産施設車両整備補助事業
- 一、整備場所 授産施設みずなぎ学園 京都府舞鶴市字鹿原二〇九番地の三
- 一、整備車両 二十九人乗りマイクロバス一台
- 一、事業費総額 四百八十万円
- 一、完了年月日 平成十二年十月七日

社会福祉法人 みずなぎ学園

理事長 多田 卓夫

- 一、施設名称 知的障害者更生施設 十倉厚生園
- 一、施設所在地 千葉県印旛郡富里町十倉 二四四三番地
- 一、完了年月日 平成十二年十二月三十日

社会福祉法人 清郷会

理事長 三橋 郷平

RIN

競輪補助事業